

令和2年度 【播磨町】認知症地域支援推進員活動報告

播磨町の認知症地域支援推進員について

- 1 認知症地域支援推進員：4名
- 2 認知症地域支援推進員の役割
 - ・ 認知症の人やその家族への支援体制の充実
（認知症高齢者等の見守り事業・認知症カフェ等）
 - ・ 地域住民への認知症に関する正しい知識の普及啓発
 - ・ 介護サービス従事者への助言、認知症ケア向上研修の実施
 - ・ 認知症ケアパスの普及啓発
 - ・ 認知症初期集中支援チームとの連携
 - ・ 認知症の人にやさしい地域づくりの推進

**報告者氏名：播磨町 福祉グループ 堂脇
認知症地域支援推進員 中村**

【播磨町】 認知症施策全体図

指針	具体的な取り組み
普及・啓発	<ul style="list-style-type: none">・講演会の開催・認知症サポーター養成講座・キャラバンメイト連絡会の開催・図書館で認知症コーナーを設置・相談先の周知
認知症の早期対応の推進	<ul style="list-style-type: none">・物忘れ健診の実施・物忘れ相談プログラム（タブレット）の公的施設への設置・認知症ケアパスの普及・認知症初期集中支援チームの設置
認知症の人や家族への支援	<ul style="list-style-type: none">・認知症地域支援推進員の配置・認知症カフェ・認知症家族会の実施・介護従事者等の認知症対応力向上研修
認知症高齢者等の見守り体制の充実	<ul style="list-style-type: none">・高齢者等の見守り・SOSネットワークの普及、強化・あんしんキーホルダーの配布
認知症の人やその家族の視点の重視	<ul style="list-style-type: none">・認知症地域支援推進員活動の推進・本人ミーティングの実施

【播磨町】 R2年度認知症地域支援推進員具体的活動報告 テーマ番号< ④>認知症理解を深めるための普及啓発 認知症サポート店の拡大、認知症に対する普及啓発、 町全体での見守り強化 ~対応力向上に向けて発信~

令和2年9月：アルツハイマー月間にあわせ認知症サポーター養成講座を開催。



認知症サポート店への登録を推奨するため、特に事業所や店舗従業員へ向け積極的に呼びかける。

10月：認知症サポート店利用者に、①サポート店であることをわかりやすく、②相談先もわかりやすく、③認知症の方が利用しやすく、④従業員へサポート店であることの自覚を促すため、店舗や事業所に独自で目印となるグッズを作成依頼。入口や窓口に設置する。

ここは、
認知症について
学んだ人が働い
ているお店（事
業所）です。



それぞれの認知症サポート店目印



地域包括



郵便局



銀行



特養

「認知症サポーターとは」
「認知症サポート店とは」
窓口が大きく掲示し、入所者
やご家族、施設利用者に、
より相談しやすい施設への取
組みとして発信。



社会福祉
協議会



文房具店



図書館

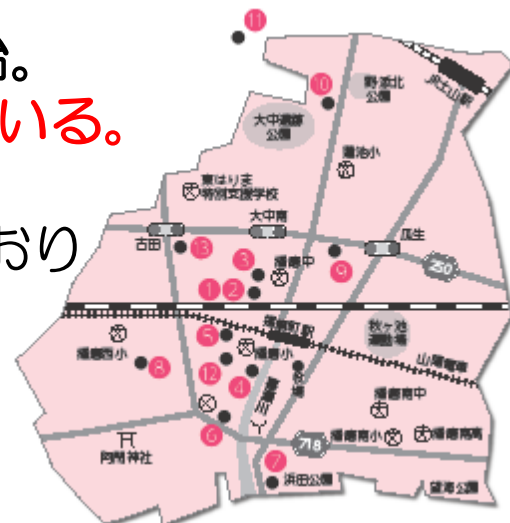
・アルツハイマー月間にあわせ
て、認知症関連の貸出図書を入
り口に大きく展示。

・図書館の貸出窓口に、認知症
関連イベントなどのチラシを設
置する等、広報店舗にもなって
います。

目印の背部には地域包括支援センター
の電話番号を記載。

平成31年度より、認知症サポート店の取組み開始。
令和3年3月現在 登録事業所は24カ所となっている。

小・中・高校・保育士へ向けて養成講座開始しており
高校・保育園2か所においては令和2年度に
認知症サポート店の登録に至る。
児童の登下校や教師出勤時の見守り協力を依頼。
町全体での高齢者や認知症の方への見守り協力者
の拡大を目指している。



播磨町の認知症サポート店の地図
社協館内、社協だよりに掲載

最後に・・・（今後の取組みに対する認知症地域支援推進員としての思い）
認知症の方が利用しやすい = 誰でも利用しやすい。
店舗利用者にとっては心強く、店舗にとってはたくさんの方に遠慮
なく利用してもらえる。共にWin Winの関係が築ける。
町全体でやさしい目が広がり、認知症になっても外出しやすく、
住み良いまちになればと活動しています。
今後は登録店舗の接遇向上を目指し、活動内容など地域の方へ
発信していけたらと思っています。